

◆平成28年度 学生募集2月開催入学選考と

後期AO入学選考エントリー(2月29日(月)まで!!)

企画広報室 高橋 達也

早いもので新年を迎えて1ヶ月が過ぎ、2月になりました。まだまだ寒い日が続いていますね。皆さん、健康管理はしっかりできていますか?今年度も後悔することのないよう、様々なことに励んでください。この春卒業予定の皆さんは、もうすぐ学生生活の締めくくりです。今月は文化・学園祭もありますので、学生生活最後の思い出を存分に作ってくださいね。また、既に内定を頂いた皆さん、出身高校へ内定報告に行きましたか?皆さんの成長した姿をきくと喜んでくれると思います。是非報告に訪れてみてください。

さて、企画広報室では、入学希望者に対して本学について少しでも多くのことを知って頂けるよう、日々広報活動をしています。皆さんの出身高校へ訪問したり、オープンキャンパスを開催したり、時にはメディアを使って本学のことを知って頂けるよう活動しています。しかし、本学の良さは皆さんが一番感じていることだと思います。本学で学んでいること、目指していること、何でも構いませんので皆さんの後輩や本学を訪れている高校生に是非声をかけてください。皆さんの中でも「先輩の声」に勇気付けられ、本学への入学を希望するきっかけになった方も少なくないはず。電子情報、福祉医療の希望者がいたら、是非「行ってみて!」と声をかけてください!!

*後期AO入学選考

B日程 エントリー期間: 2/29(月)まで

*入学選考日

第4回入学選考 2/20(土)

持待・自己推薦・一般・社会人・留学生 各選考

*オープンキャンパス日程

2/ 4 (木) 17:00 ~ 18:30

20 (土) 13:00 ~ 15:30

3/ 5 (土) 13:00 ~ 15:30

15 (火) 17:00 ~ 18:30

個別相談会

保護者説明会

同時開催

2月の行事



1日(月)1CP 保育実習Ⅱ(保育所)

4日(木)オープンキャンパス 17:00-18:30

授業・補講・後期試験・卒業試験
卒研・ケアスタ(～12日(金))

5日(金)CP スクーリング

6日(土)託児所:あり

10日(水)3CP 卒研科内発表会

11日(木)建国記念の日

15日(月)登校日、追再試補講期間(～25日(木))

17日(水)介護福祉士共通試験

18日(木)電子情報卒研学内発表会

J検 CBT

20日(土)第4回入学選考

オープンキャンパス 13:00-15:30

託児所:あり

23日(火)ケアスタディ発表会(～24日(水))

26日(金)文化祭(～28日(日))

27日(土)学園祭(～28日(日))

29日(月)文化祭・学園祭振休



3月の行事

1日(火)1MIS 春季病院実習(～3/31)

3日(木)J検 CBT

5日(土)オープンキャンパス 13:00-15:30

7日(月)進級・卒業判定会議

10日(木)登校日(全学年)、大掃除

11日(金)同窓会入会式

12日(土)終業式、卒業式、謝恩会

◆17年卒採用、すでに号砲

進路室長 橋野 幸男

このところ、「静岡新聞」の『ひろば』(朝刊の読者投稿欄)に、「大学生・21歳」という投稿者が目立ちます。例えば、

- ① 1月5日:「店主の対応 学ぶこと多く」
- ② 同上:「就職活動前に 不安が強まる」
- ③ 1月14日:「魅力理解した地方創生 必要」
- ④ 同上:「『103万円』の壁 学生には切実」
- ⑤ 1月20日:「求める社員像 学生に示して」
- ⑥ 1月22日:「就活システム 短縮化を望む」
- ⑦ 1月23日:「財団での経験 就活に生かす」

などです。①と③は、実習で「商店街の活性化」に取り組んだ学生が、そこで考えたこと・学んだことを述べたものです。

④では、税制改正の議論に対して、「賃金デフレの中、親からの仕送りが年々減少し、学費や生活費を貸与型奨学金やアルバイトに頼らざるを得ない」学生の立場から、就職活動への影響も含めて、学生の現状に考慮した議論を行なってほしいと訴えています。②、⑤及び⑥は、採用スケジュールに関する経団連の「指針」が1年で再び改定されたことに関し不快感や不安を、また、企業に対し「求める人材像」を具体的に示して欲しいとの要望を表明したものです。そして、⑦は(公財)就職支援財団主催のプログラムに1年次から参加している学生の投稿で、次のように述べています。

「一財団では、学内ではできない他大学生や社会人と関わる機会を与えてくれた。私はこれまで企業との共同商品開発、企業へのインタビューとラジオ番組の作成、経済団体との連携による就活イベントの企画運営に取り組んだ。企画が通らなかつたり、仕事が思うように進まなかつたりし、悩んだり落ち込んだりもしたが、楽しむことができたし、できることも増えた。また、信頼できる社会人からの応援やアドバイスは何よりも心強かつたり、何よりも、良かったと言ってくれる仲間や参加者の存在は大きかつたり。もしかしたら、仕事ってこんな感じなのだろうか。3月から始まる就活は長くつらいものだと聞く。しかし、これまでの経験を糧にプラス思考で楽しみながら乗り越え、自分の成長につながるようにしていきたい。」

この投稿者7名は、同じゼミかサークルに属する学生で、教員の指導もしくは自らの発案で、自分たちの意見を社会に発信しているのでは、と推察されます。

今夏の参議院議員選挙から「18歳選挙権」となり、これをきっかけに若い世代の政治・社会への関心が高まることが期待されています。そうした中で、この学生たちのチャレンジを歓迎するとともに、本学の皆さんにも、例えば(公社)静岡県職業教育振興会主催「学生・生徒研究論文」への応募などの際に「現場での体験を基に

自ら考えたことを、社会に向けて発信」してほしい、また、学外での活動にも積極的にチャレンジしてほしいと願っています。

さて、年末から1月にかけて、「次年度」の採用・就職活動動向に関する調査発表や報道が数多くありました。例えば、

- ・『2017年度新卒採用スケジュールに関する緊急企業調査』
12月18日－(株)ディスコ キャリアリサーチより
- ・『17年卒採用 はや号砲。IT・ベンチャー、大手に先行』
1月4日－「日本経済新聞」より
- ・『16年就活 早めが肝心。6月選考開始に前倒し、超短期決戦』
1月6日－同上
- ・『2016年 最短就活の乗り切り方』
(上) “3月の就活解禁を待たずに企業研究を始めよう！！”

(下) “ESは4月中旬以降、面接は1週間で終了?!”
－「日経カレッジカフェ」連載(Web)より
などです。すでに、進路部会などで、あるいは、学生には授業で紹介済みです。学生個々が、志望業界・企業ごとに多様化する採用スケジュールを的確に把握して活動準備を行なっていくことが重要です。

「一大事と申すは 今日ただ今の心なり」一。江戸時代の名僧・正受老人(道鏡慧端禅師、臨済宗)が、今、この瞬間の尊さを村人たちにやさしく説いた言葉の一節です。「未来」は、瞬間の積み重ねです。これからの学生生活を、そのときそのときの一瞬を疎かにしないで密度の濃いものにしていく、それが皆さんに充実した未来をもたらすと考えます。就職活動、卒業研究など等、成長を図る多くのステップに、果敢に挑んでいってください。

◆第6期実習を終えて 「相談員に必要な視点」

総合福祉学科 3年 宮坂 航平

私は第6期相談援助実習を15日間、「介護老人保健施設こみに」にて行わせていただきました。こみには『クライアントのニーズや意向を尊重する大切さ』を実際の現場で学ぶことができました。

実習期間中には、入所の相談に同席させていただく機会が豊富にあったため、対象者様やそのご家族の方とコミュニケーションを取る機会が多くありました。最初は、ご家族の方からアセスメントを行うのは「対象者様についての情報を集めることのみが目的なのだ」と流すように考えていましたが、たとえ小さな事柄だとしても深くつきつめていき、少しでも対象者様に近づけるような聴き取りを行

っていた職員を見て、あくまで対象者様のニーズを引き出すための面接なのだということに気がつきました。日常生活動作や既往歴、現病歴が把握できていても対象者様が本当に望んでいることがわかっていなければ、それは本当の意味での『支援』とは言えません。

私は相談員を目指しています。その過程においてこの第6期実習は私にとって改めて『相談援助とは何か』を考えさせられる実習となりました。この先も学校や実習で学んだことを自身の糧とし、更なる研鑽を積み精進していきたいと考えています。

終わりに、多忙の中時間を割いてご指導くださった介護老人保健施設こみに職員様一同、個別援助計画の際にご協力いただいた対象者様、アドバイス等をくださった実習巡回の先生方に感謝申し上げます。

「寄り添うことの大切さ」

総合福祉学科 3年 多々良 知起

私は、12月1日から17日、地域小規模児童養護施設で第6期実習を行わせていただきました。この施設では「一般の家庭に近い生活を送る」、「地域との関わりを大切にする」ことを目標にして、児童の環境を整えていくように支援しています。

児童養護施設での実習は初めてであり、緊張や不安がありました。しかし、①「何かしらの問題を抱える児童の気持ちが和らぐようなコミュニケーションを取る」、②「15日間という短期間ではあるが、児童のことを理解し、距離を縮めていく」という目標を立てて実習に入りました。

実習開始当初は、児童一人ひとりの生活リズムを崩さないため、その児童に合った生活リズムを理解していくよう心がけていきました。そのような手探り状態のなか、職員の方から「話すだけではなく、児童と一緒に空間にいるということも立派なコミュニケーション」というご指導をいただき目から鱗が落ちる思いでした。そこで、まずは児童のそばに「寄り添う」支援を主に取り組みしてみました。すると、日数を重ねるごとに児童との距離も縮まり、内容の濃い実習を行うことができました。

実習最終日、ほとんど話すことのできなかった高校生の女の子が笑顔で手を振り「また来るら〜!」と言ってくれたことは私の心に今も残っています…。

私は、4月から高齢者施設で働きます。今回の実習で得られた「その方に合った支援」を今後も大事にし、1人でも多くの利用者様から笑顔を引き出していきたいと思えます。

また、私には中学生の頃から「児童養護施設で働く!」という夢があります。今回の実習をそのスタートラインとし、夢に向けて今まで学んだことを忘れず頑張っていきたいと思えます。

◆保育実習Ⅳを終えて

子ども心理学科 2年 野村 梢

最後の保育園実習が終了しました。今回の実習は三回目ということもあり、緊張しながらも自分らしく実習に取り組むことができました。

子どもと一緒にたくさん遊ぶことで、子どもとの距離が縮まりました。子どもを知るには、自ら積極的に関わりに行くことが大切と感じました。そして何より大切なことは、子どもと笑顔で関わることです。保育の知識も大切ですが、子どもを知るには関わるのが一番良い方法なので、笑顔で元気に子どもと接していくことが大切だと学びました。

今回の実習だけではなく、今までの実習で学び得たこと、また、まずかったところは改善して、次回の幼稚園実習では、保育所との違いもあります。子どもと向き合い笑顔で自分の持っている限りの力を使って挑んでいきたいと思えます。



◆文化祭・学園祭開催に向けて

子ども心理学科 3年 松下 葉奈

3年間の学生生活も残すところわずかとなりました。最後のイベント「文化祭・学園祭」を思い出に残るものにしたいです。

文化祭では、3年間の勉強の集大成である「卒業研究」を発表することで、今までの学校生活等で頑張ってきた成果を皆さんに発表し、自分の思いや調べたことを通して自分の感じて欲しいことを伝えることにより、勉強の成果を証明したいです。そして、4月からの新しい社会人としての生活につなげていきたいです。

3年前、初めはまとまりのないクラスでしたが、一人一人が辛い実習や様々な経験を乗り越えたことにより成長し、クラスとしての力も大きくなり、団結することが出来たと思います。4月からは全員が別々の道を歩んでいくこととなります。今までの生活の中で、揉めたこと、後悔したこと、楽しかったこと、笑ったこと、全てのことを3年間共有してきた仲間です。



最後はクラス全員で楽しみ、笑って終わることが出来るようにしたいです。そして、社会人になった際の励みになるようにクラス全員で協力して頑張りたいです。